

3類型	鋳工業品	通巻番号	4 - 21 - 039
地域資源名	伝統的工芸品(美川仏壇)	認定日	平成22年2月16日
地域	小松市、白山市、能美市	所管省庁	経済産業省

事業名:美川仏壇の下地加工技術を活かした現代生活に合った仏壇の製造と販路開拓

会社名:佛壇の山本

所在地:石川県能美市寺井町口83 - 1

連絡先:TEL:0761 - 57 - 4554

H P:http://www.mikawa-butudan.com/

FAX:0761 - 57 - 4338

事業概要(新たな活用の視点)

- ・美川仏壇の「堅牢で荘厳かつ華麗」といった伝統的な特徴を残し、生漆による下地加工技術等を活かして高气密化・高断熱化が進む現代の住宅環境においても狂いが少ない小型仏壇を製造。
- ・定番品の製造・販売に加え、オーダーメイドにも対応し、サイズやデザインの他、引き出しや欄干など古い仏壇の部材を新しい仏壇に一部組み込むという顧客の要望にも応える。
- ・小型仏壇への買換え需要等をターゲットにして商品PR、販路開拓を展開する。



【現代小型美川仏壇】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・他産地に先駆けて組合による品質管理に積極的に取り組んでおり、トレーサビリティ、品質保証体制が確立している。
- ・産地でも数少ない木地から塗りまでの一貫生産を行っており、顧客の要望にきめ細やかに対応でき、また、内製のためコスト削減も可能である。
- ・グッドデザイン賞の受賞実績もあり、顧客ニーズに合ったデザインを提案できる。

市場性

- ・都市圏への人口集積や住宅スタイルの欧米化、世帯単位の減少などにより、仏壇の小型化ニーズが高まっており、デザイン面を重視したミニ仏壇や厨子が販売を伸ばしている。

販路

- ・新聞・雑誌広告、都市圏における百貨店の催事や展示会への出展、ハウスメーカー、マンション販売業者等への営業等を積極的に実施し、販路開拓を図る。



【伝統的美川仏壇】

地域における関係事業者等との連携

- ・同社代表は美川仏壇協同組合の理事を務め、優れた塗りの技術を有する職人の一人として、若手職人の技術指導にも携わっている。
- ・石川県の伝統産業関連事業に参画するとともに、石川県デザインセンター とはデザインや新製品開発において連携してきた。